

GPS 安全性要約書

タウリン

この GPS 安全性要約書は、化学産業界の自主的化学品管理の取組み (GPS : Global Product Strategy) に基づいて、弊社が製造する化学製品の安全な取り扱いに関する概要を提供することを目的としています。ヒト健康や環境への影響あるいはリスク評価の詳細、法規制情報や分類・ラベル情報等の専門的な情報を提供するものではありません。また、弊社が発行する安全データシート (SDS) に代わるものではありません。本製品のお取り扱いに際しては、弊社が発行する SDS をご確認ください。

記載内容は、現時点で入手できる法令、資料、情報およびデータに基づいて作成しておりますが、いかなる保証をなすものではありません。また品質を特定するものでもありません。

1. 物質の特定 (Chemical statement)

物質の特定	説明
三井化学の製品名	タウリン
化学名又は一般名	タウリン
別名	アミノエチルスルホン酸
化学特性 (化学式等)	$\text{H}_2\text{NCH}_2\text{CH}_2\text{SO}_3\text{H}$
CAS 番号	107-35-7
含有量	99.0 % 以上
官報公示整理番号	化審法: (9)-801 安衛法: 既存

2. 物質の概要 (General statement)

タウリンは無色又は白色の結晶又は結晶粉末です。臭いはほとんどありません。温水にはやや溶けやすいですが、エタノールやエーテルにはほとんど溶けません。

タウリンを飲み込んだ場合に有害な影響が生じる可能性は低いと予想されます。

タウリンの水棲生物に対する有害性について知見がありません。

作業者がタウリンを取り扱う場合は、微粉体が飛散しないように管理して下さい。微粉体が飛散する環境では、局所排気装置を設置するなどして、十分に換気を行って下さい。

ACGIH (米国産業衛生専門家会議) や日本産業衛生学会などは作業環境許容濃度を定めていません。作業環境濃度が高い場合はその濃度に応じて、防塵マスクまたは電動ファン付き呼吸保護具の装着を考慮して下さい。微粒子に適応できるように捕集率 99.9 % 以上のものを選択して下さい。さらに濃度が高い場合は、使い捨てタイプではなく、取替え式マスクを選択して下さい。皮膚に触れた場合の有害性が不明のため、皮膚への暴露を最小限とするような作業服、防護服を検討下さい。

消費者がタウリンを含む製品を取り扱う場合には、付属の取扱説明書に従って下さい。

環境への影響を最小化するために、タウリンまたはこれを含む製品および製品の残留物を河川、水路、下水溝などに流さないで下さい。

3. 製品情報 (Product information)

この製品に関する詳しい情報については以下にお尋ね下さい。

三井化学株式会社

<https://www.mitsuichem.com/contact/safety/>

4. 物理化学的特性 (Physical / Chemical properties)

タウリンは無色又は白色の結晶又は結晶粉末です。臭いはほとんどありません。温水にはやや溶けやすいですが、エタノールやエーテルにはほとんど溶けません。

特性	説明
物理的状态	固体
形状	結晶又は結晶性粉末
色	無色又は白色
臭い	ほとんど無臭
pH	非該当
融点	300 ~ 310 °C
引火点	知見がありません
爆発特性	知見がありません
密度 (比重)	1.67
溶解性	温水にはやや溶けやすく、エタノール又はエーテルにはほとんど溶けません

5. ヒト健康影響 (Health effect)

タウリンを飲み込んだ場合に有害な影響が生じる可能性は低いと予想されます。

影響	説明
急性毒性 (経口)	飲み込んだ場合に有害な影響が生じる可能性は低いと予想されます [区分外]
(経皮)	知見がありません [分類できない]
(吸入)	知見がありません [分類できない]
皮膚腐食性・刺激性	知見がありません [分類できない]
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	知見がありません [分類できない]
感作性 (呼吸器)	知見がありません [分類できない]
(皮膚)	知見がありません [分類できない]
生殖細胞変異原性	分類できません 参考: Ames 試験 陰性
発がん性	知見がありません [分類できない]
生殖毒性	知見がありません [分類できない]
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	一度飲み込む、または皮膚に触れる、または吸入することで、特定臓器へ障害を与える可能性は低いと予想されます [区分外]
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	長期に飲み続けた場合でも臓器に障害を起こす可能性は低いと予想されます [区分外]
吸引性呼吸器有害性	知見がありません [分類できない]

6. 環境影響 (Environmental effect)

タウリンの水棲生物に対する有害性について知見はありません。

環境有害性	説明
水生環境有害性	知見がありません [分類できない]

7. 推奨するリスク管理措置(Risk management recommendations)

タウリンを使用する際には、SDS または取扱説明書に従い、以下のリスク管理措置をとることを推奨します。これらリスク管理措置をとることで、作業員、消費者および環境のタウリンに対するリスクは管理できると考えられます。

対象	リスク管理措置
作業員	・微粉体が飛散しないように管理して下さい。微粉体が飛散する環境では、局所排気装置を設置するなどして、十分に換気を行って下さい。ACGIH (米国産業

	<p>衛生専門家会議) や日本産業衛生学会などは作業環境許容濃度を定めていません。作業環境濃度が高い場合はその濃度に応じて、防塵マスクまたは電動ファン付き呼吸保護具の装着を考慮して下さい。微粒子に適応できるように捕集率 99.9 % 以上のものを選択して下さい。さらに濃度が高い場合は、使い捨てタイプではなく、取替え式マスクを選択して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚に触れた場合の有害性が不明のため、皮膚への暴露を最小限とするような作業服、防護服を検討下さい ・作業管理者は作業者に対し、適切な保護具の選択および使用方法、また作業場の管理方法を教育して下さい ・取り扱い場所の近くに目及び身体の洗浄装置を設定して下さい
消費者	製品付属の取り扱い説明書に従って使用して下さい
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・製造および加工の過程では、排気・排水設備を設置し、定期的な設備の保守点検を実施して下さい ・タウリンまたはこれを含む製品および製品の残留物を河川や水路、下水溝などに流さないで下さい ・漏洩防止対策をして下さい

8. 発行・改定日 (Date of issue / Revision)

2014年3月12日発行

弊社ホームページにて、最新の GPS 安全性要約書であることをご確認下さい。

<http://www.mitsuichem.com/ps/index.htm>

(注 1) GHS 分類: Globally Harmonized System of Classification and Labeling of Chemicals

世界的に調和されたルールに従い、化学品を危険有害性の種類と程度により分類するシステム。

「物質および混合物の分類、表示および包装 (CLP) に関する欧州議会および理事会規則 (EC (No) 1272/2008 annex IV)」に従った分類を採用した。

<http://echa.europa.eu/web/guest/information-on-chemicals/registered-substances>

作成/改定日	項目	改定箇所	引用 SDS 発行日	版
2014/2/18			2011/1/20	1

GPS 安全性要約書は、ヒト健康や環境への影響あるいはリスク評価の詳細、法規制情報や分類・ラベル情報等の専門的な情報を提供するものではありません。また、弊社が発行する安全データシート (SDS) に代わるものではありません。

本要約書は日本国内での本製品の使用に対する評価を記載したものです。本製品のお取り扱いに際しては、弊社が発行する当該国向けの SDS をご確認下さい。